

⑩【新潟医療生活協同組合 木戸病院】

住 所	〒950-0862 新潟県新潟市東区竹尾 4-13-3		病床数：312床
診 療 科 目	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、小児科、心療内科、精神科、外科、消化器外科、整形外科、皮膚科、アレルギー科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科、小児歯科、歯科口腔外科		
研修責任者名	山口 利夫	連絡先：kensyu@kido-hp.com 025-273-2151（代表）	連絡先担当者名：齋藤（事務局）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：1人、令和元年度：2人、2年度：2人 ・その他プログラム 平成26年度：0人、27年度：0人、28年度：1人、29年度：1人、30年度：4人、令和元年度：4人、2年度：3人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（内科、呼吸器、消化器、循環器、内分泌・糖尿病、腎臓、神経）、外科（外科、消化器外科） 選択研修：整形外科、皮膚科		内科11人、腎臓2人、糖尿病・内分泌3人、消化器3人、循環器3人、呼吸器1人、神経内科3人、外科4人、消化器外科1人、整形外科2人、皮膚科1人、小児科2人	内科4人、腎臓1人、糖尿病・内分泌1人、消化器2人、神経内科1人、呼吸器1人、消化器外科1人、整形外科1人
施設の概説・特徴			
当院は312床を持つ医療生活協同組合立の総合病院である。平成22年1月に電子カルテを導入、平成23年7月には病院を新築移転する。平成26年9月に地域包括ケア病棟を開設し、平成27年11月には回復期リハビリ病棟を開設するなど、近年、病院機能が格段に向上した。 当院では、常にかんがいの早期発見・早期治療を目指した診療を行っている。生活習慣病である高血圧症、糖尿病、脂血症、虚血性心疾患に対しては、専門医による治療のほか栄養指導を中心に生活習慣の改善指導にも力を注いでいる。 「糖尿病センター」の症例数がとにかく豊富であり、消化器病センターとともに新潟市東地域の中核病院として更なる発展を目指している。また、地域住民の生涯健康管理の支援を最大の任務と捉え、健診事業にも力を注いでいる。 2017年度に病院機能評価を更新【一般病院2 リハビリテーション病院（副）】			
研修受け入れ可能診療科の説明			
呼吸器内科では、病気の治療だけでなく、病気の進行防止のために禁煙外来を設けたり、睡眠時無呼吸症候群についても他科と協力して検査ね治療にあたっている。 消化器内科では、早期癌の内視鏡治療、肝臓に対する治療、胆管系の治療など、広い分野の診療を行っている。 循環器内科では、カテーテル検査と治療を通して虚血性心疾患患者の救命と予後の改善を図っている。心不全や心房細動に対しても治療と同時に再発や脳梗塞予防に努めている。糖尿病治療は、患者とのコミュニケーションを大事にした双方向の治療を心がけている。また、内分泌疾患の早期発見と治療にも力を注ぎ、甲状腺機能亢進症、低下症などの治療も行っている。 腎臓内科では、血液透析及び血漿交換療法のほか、腎生検を含めた精査治療も行っている。そのほか、腎不全外来を設け、腎炎や糖尿病性腎症のごく早期から腎臓内科医が関わって、慢性腎不全の進行悪化の防止に努めている。 神経内科では、脳血管疾患の急性期治療からリハビリテーション、再発予防のための危険因子管理まで包括的な診療を行っている。また、さまざまな神経難病の診断、診療にも広く取り組んでいる。 外科◆では外科的手術治療のみならず内視鏡的治療や腹腔鏡を積極的に用い、患者への手術侵襲の軽減を図っている。がんの治療に際してもインフォームド・コンセントを最優先し、手術から末期の緩和医療に至るまで、不安なく治療を受けて頂けるよう努力している。 整形外科では、主体になるのが骨粗鬆症の概念と骨粗鬆症関連の治療薬の習得、併発する疼痛関連の治療方法について、将来整形外科医を目指す人のための1ヶ月コースと、整形外科専門医を目指す2ヶ月専門コースで行います。 皮膚科では、外来・病棟診療、手術を通して、発疹の記載法、皮膚病理診断法、皮膚科特有の検査・治療法を研修し皮膚外科の基本手技を身につけます。皮膚生検など簡単な手術は一人で行えるようにします。			
研修の概説と特徴			
当院では、4週間または6週間を一つの単位として各診療科を研修する。研修の始めは内科研修から開始し、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌・糖尿病、腎臓内科、神経内科をローテーションする。内科は全科合同で毎週カンファレンスを行っている。外科系では外科、消化器外科、希望により整形外科の研修ができる。積極的な学会・研究会等への参加に対して、費用面への補助も厚くなっている。			
研修医の当直			
研修一年目では、原則として救急外来のファーストタッチは行わない。研修中の診療科指導医が当直の際に一緒に当直し、救急患者の診療について学ぶ。研修二年目は上級医、指導医が当直の際に一緒に当直を行い、必要に応じて指導医のアドバイスを受け、また各科専門医と相談して診療を行う。			
処 遇			
●給与：1年次（月額基本給）基本給400,000円 時間外手当150,000円 日当直手当10,000円（月3回目以降） 2年次（月額基本給）基本給445,000円 時間外手当155,000円 日当直手当10,000円（月3回目以降） （諸手当）住宅手当：上限20,000円（上限）、通勤手当：医師給与規定に準ずる ●食事：院内職員食堂（11：00～15：00）、売店（7：00～19：00）、宅配弁当利用可。夜間休日は近隣の大手スーパー、コンビニ、飲食店などで対応。 ●宿舍：個人準備 住居手当あり（上限20,000円） ●居室：専用の研修医室有。専用の机有。専用のパソコン有。 ●図書・文献：各種資料検索のための24時間利用可能な図書室を常備。各領域の主要学会誌を含む、国内の図書2,000冊以上、国内雑誌100種以上、国外の図書200冊以上、雑誌30種以上が常設。 ●インターネット環境：医局内で共有端末が複数台設置。各居室にも個別に接続環境あり。			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。

◆令和4年度当院での外科（必修）担当科の1つであり、研修の際は、基本的な外科手技と全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。